

意見書

二十歳の私へ

作品から生まれた素朴で率直な疑問について（人間や社会について）自分の意見をもつ。

次の要件を満たして「自分の考え」をつくること。ただし、②③は必要に応じて取り入れればよい。

- ①『故郷』の作品の中から観点を絞って、自分のテーマをもつ。（根拠を作品から示すこと）
- ②『故郷』の作品からテーマに対する答えを示すこと。
- ③『故郷』の作品以外の参考となる情報（新聞・書物・歴史的事実・ニュース・著名人の生き方など）を踏まえて自分の考えをつくること。

『故郷』の作品から生まれた素朴で率直な疑問

「これから」を生きる次の世代が大事にすると良いことは何か

【結論】(1)

自分に自信をもつことで新しい生活は実現していくと考える

【そのように考えた根拠】

- ①ルントウから自信を感じない。
 - ・言われたことをやるだけの意志のない人間(でくのぼう)。
 - ・苦しみを感じてはいても表現していない。あきらめている
- ②オバマ大統領
 - ・差別的な扱いを受けても希望をもち夢に向かって前向きに生きた
 - ・「黒人であることに自信をもて」という発言

【中身を意識して書くポイント】

(2)客観性のある根拠をもとに自分の考えを述べるための工夫

(3)伏線や展開の工夫

その意図

(4)語彙や表現の工夫

その意図

私は、この作品の中で、ルントウの変わり果てた姿に衝撃を受けた。「艶のいい丸顔」は「黄ばんだ色」に変わり、「血色のいい、丸々とした手」も「節くれだった、しかもひび割れた、松の幹のような手」に変わってしまった。このように、昔とは似もつかない姿に変わり果てたのである。

また、ルントウは容姿だけでなく、性格までもが変わり果ててしまった。「はとだの、ランペイだの……」「毛が油みたいに滑っこくて……」とあるように、ルントウの会話文には六点リーダーが多用されていた。ここでの六点リーダーは、書き切れない会話の多さを表している。まさしく「神秘の宝庫」の「庫」である。

大人になったルントウの会話文も六点リーダーが多用されているが、昔とは違う。「それでも追っつけません……」「世間は物騒だし……」「決まりも何も……」とあるように、苦しみを感じ

はしていても言葉にできないのである。本文にも「沈黙」「黙々と」という言葉が出てきているが、言葉を発しないルトウは、木でできた人形「でくのぼう」になってしまったのである。役に立たない人間になってしまったのである。

では、このようにルトウが変わってしまった原因は何か？それは、生活の苦しさからだとも読み取れる。「銀の首輪」がなくなっているのも、きっと銀の首輪をお金に換え生活の足しにしたのだろう。

しかし、私はルトウに「『私』の憧れの存在」のままでいて欲しかった。ルトウを象徴する描写（「紺碧の空に金色の丸い月」「ヤッとばかりに突く」）のように、鮮やかで躍動感あるそんなルトウのままでいて欲しかった。

そこで、私は「どんな社会だったらルトウは、でくのぼうにならずにすんだのだろう」と疑問をもった。

ルトウの苦しい生活は、「重い税金」「匪賊」「役人」「地主」と、みんなが寄ってたかっていじめたことによって生まれた。ここから分かることは、役人や地主による税金の二重取りがあったかもしれないということ。匪賊がいるにもかかわらず、それを取り締まることができていない社会であるということである。確かに、ヤンおばさんも当たり前のように手袋を盗んでいったし、その辺にあるものを勝手に持ってゆく連中も登場する。

もしルトウが「モラルや法」によって一人一人が守られるような社会で生きていたとしたら、希望を失わず、でくのぼうみたいな人間になることはなかったのではないかと考えた。

現代においても「社会制度」が整っている社会では、安心して生活することができる。デ

ンマークでは、労働時間が決められていたり、女性の就職率が世界一高かったりする。教育費が大学まで無料である。医療の負担もほとんどない。そのため、国連が行った「世界幸福度ランキング2016」の調査において、見事一位に輝いたのである。このように社会制度が整い、一人一人が守られる社会であってこそ、初めて希望をもって生きられるのだ。

平成29年 月 日 ()

～十五歳の学びの足跡～

【疑問や不安、さらに考えたいこと】

- ・日本も世界的に見たら社会制度の整った国であると思うが、なぜ53位なのか。

①新しい社会を望む人が多くなれば、それが道になるというのは本当なのか

②他人に頼るのではなく、自分が一步を踏み出すことに価値があるのか

③野放図に走る生き方はなぜいけないのか

④差のない社会をつくるにはどうしたらよいか

⑤社会が豊かになれば、本当に差別はなくなるのか

⑥社会が豊かであれば、人間関係はよくなるのだろうか

⑦こんなにひどい目にあっても希望をもつことなんてできるのだろうか

⑧貧困と教育格差は関係しているのか

⑨これからを生きる次の世代が大事にするとよいことは何か

